

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月14日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://andor.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)栗原 高明
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)埜 勝宏 (TEL)03(3419)3011
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,468	—	29	—	36	—	316	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	61.06	—
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2019年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,876	2,010	69.9
2019年3月期	2,291	1,711	74.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,010百万円 2019年3月期 1,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	4.2	165	△48.2	170	△47.7	380	87.0	73.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,184,140株	2019年3月期	5,184,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,289株	2019年3月期	6,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,177,851株	2019年3月期2Q	5,177,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、人手不足に対応した省力化投資や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要を中心とした設備投資が底堅い動きを見せるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦長期化の影響で、輸出・生産の一部に弱さが露呈したことに加え、消費税増税による国内消費の落ち込み懸念等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、独自のソリューションで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当社は、2019年4月1日付で連結子会社であるアンドールシステムズ株式会社を吸収合併したことにより、第1四半期決算において、抱合せ株式消滅差益287,122千円を計上するとともに、第1四半期累計期間から非連結での業績開示を行う運びとなりました。また、当会計年度期首より、退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法へ変更したことにより、第1四半期決算において、退職給付費用（退職給付債務の計算方法変更による差額費用）として117,031千円を売上原価に、25,126千円を販売費及び一般管理費にそれぞれ計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,468,358千円、営業利益は29,985千円、経常利益は36,219千円、四半期純利益は316,139千円となりました。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

※参考：2019年3月期第2四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高8.5%増、営業利益76.8%減、経常利益72.9%減、四半期純利益251.5%増となります。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

I エンジニアリング事業

業務系・制御系・LSI設計・回路設計・機械設計等の豊富な経験を持つ技術者が、ソフトウェア開発からアウトソーシング・技術者派遣まで、多方面にわたる設計サービス分野において、総合エンジニアリングサービスを行っております。

技術者工数の確保により売上高は堅調な推移となったものの、退職給付債務の算定方法変更に伴う人件費増加等の影響により、この事業の売上高は1,057,431千円となり、経常損失は20,449千円となりました。

※参考：2019年3月期第2四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高4.4%増、経常利益131.7%減となります。

II プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用・受託開発を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元CADシステム「CADSUPER Works」、2.5次元CAMソフト「CAMCORE EX」等のCAD/CAM関連製品を主力製品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品を販売し、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

受託開発としては、自社CADソフトのカスタマイジングを始め、当社の3D技術を活かしたソフトウェア開発を行っております。

消費税増税を控えた駆け込み需要により、特に3次元CADソフトの販売が好調で、自社製品売上高が伸長したものの、退職給付債務の算定方法変更に伴う人件費増加等の影響により、この事業の売上高は400,179千円となり、経常利益は53,765千円となりました。

※参考：2019年3月期第2四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高21.8%増、経常利益14.0%減となります。

Ⅲ 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

不動産稼働率の減少により、この事業の売上高は10,747千円となり、経常利益は2,903千円となりました。

※参考：2019年3月期第2四半期連結業績に対する前年同期比は、売上高11.1%減、経常利益57.0%減となります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、ソフトウェアの減少（115,048千円から83,381千円へ）31,666千円、投資有価証券の減少（221,544千円から188,886千円へ）32,658千円等があったものの、現金及び預金の増加（1,241,236千円から1,523,912千円へ）282,676千円、受取手形及び売掛金の増加（376,534千円から446,130千円へ）69,595千円、建物（純額）の増加（22,822千円から109,486千円へ）86,663千円、土地の増加（28,400千円から189,346千円へ）160,946千円、繰延税金資産の増加（78,659千円から155,898千円へ）77,238千円等により、前事業年度末に比べ585,091千円増加の2,876,233千円となりました。

負債は、未払金の減少（41,841千円から28,500千円へ）13,341千円等があったものの、未払費用の増加（35,833千円から52,034千円へ）16,200千円、賞与引当金の増加（60,190千円から83,801千円へ）23,610千円、退職給付引当金の増加（166,069千円から385,554千円へ）219,484千円等により、前事業年度末に比べ285,520千円増加の865,502千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、四半期純利益の計上316,139千円により、前事業年度末に比べ299,570千円増加の2,010,730千円となり、自己資本比率は69.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、2019年5月20日公表の予想値を修正いたしました。

詳細は本日（2019年11月14日）公表の「第2四半期業績予想値と実績値の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,241,236	1,523,912
受取手形及び売掛金	376,534	446,130
商品及び製品	460	2,650
仕掛品	948	15,254
貯蔵品	5,999	5,237
前払費用	51,658	66,595
預け金	12,762	22,006
未収入金	2,323	199
その他	1,019	5,636
流動資産合計	1,692,943	2,087,622
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,822	109,486
工具、器具及び備品（純額）	4,367	4,522
土地	28,400	189,346
有形固定資産合計	55,590	303,355
無形固定資産		
ソフトウェア	115,048	83,381
ソフトウェア仮勘定	3,041	35,956
電話加入権	3,131	3,219
無形固定資産合計	121,221	122,557
投資その他の資産		
投資有価証券	221,544	188,886
関係会社株式	103,200	-
破産更生債権等	-	698
敷金	15,731	15,662
会員権	9,475	9,475
繰延税金資産	78,659	155,898
貸倒引当金	△7,225	△7,923
投資その他の資産合計	421,385	362,697
固定資産合計	598,198	788,610
資産合計	2,291,141	2,876,233

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,528	81,011
未払金	41,841	28,500
未払費用	35,833	52,034
未払法人税等	48,601	63,610
未払消費税等	27,628	28,394
前受金	117,610	125,346
預り金	5,016	6,932
賞与引当金	60,190	83,801
その他	1,962	2,356
流動負債合計	407,213	471,987
固定負債		
退職給付引当金	166,069	385,554
役員退職慰労引当金	6,699	6,426
その他	-	1,534
固定負債合計	172,768	393,514
負債合計	579,981	865,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金		
利益準備金	29,195	30,748
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,166,816	1,465,869
利益剰余金合計	1,196,011	1,496,618
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	1,695,991	1,996,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,168	14,133
評価・換算差額等合計	15,168	14,133
純資産合計	1,711,159	2,010,730
負債純資産合計	2,291,141	2,876,233

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,468,358
売上原価	1,170,845
売上総利益	297,512
販売費及び一般管理費	267,527
営業利益	29,985
営業外収益	
受取利息	203
受取配当金	5,769
固定資産賃貸料	252
雑収入	104
営業外収益合計	6,329
営業外費用	
支払利息	84
雑損失	11
営業外費用合計	95
経常利益	36,219
特別利益	
投資有価証券売却益	1,444
抱合せ株式消滅差益	287,122
特別利益合計	288,567
税引前四半期純利益	324,786
法人税、住民税及び事業税	53,259
法人税等調整額	△44,612
法人税等合計	8,647
四半期純利益	316,139

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	324,786
減価償却費	35,397
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△287,122
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,748
退職給付引当金の増減額(△は減少)	152,658
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,253
受取利息及び受取配当金	△5,973
支払利息	84
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,444
売上債権の増減額(△は増加)	△18,496
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,734
仕入債務の増減額(△は減少)	16,889
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,359
前払費用の増減額(△は増加)	△14,506
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,927
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,763
小計	155,992
利息及び配当金の受取額	5,973
利息の支払額	△84
法人税等の支払額	△56,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,679
無形固定資産の取得による支出	△32,837
投資有価証券の取得による支出	△1
投資有価証券の売却による収入	43,674
貸付金の回収による収入	30
その他	332
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△15,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,003
現金及び現金同等物の期首残高	1,241,236
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	182,672
現金及び現金同等物の期末残高	1,523,912

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エンジニアリング事業	プロダクツ事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,057,431	400,179	10,747	1,468,358	1,468,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,057,431	400,179	10,747	1,468,358	1,468,358
セグメント利益又は損失(△)	△20,449	53,765	2,903	36,219	36,219

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。